



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月9日

上場会社名 クラボウ(倉敷紡績株式会社)
 コード番号 3106 URL <https://www.kurabo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤田 晴哉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 藤井 裕詞
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6266-5136

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	56,173	20.8	563	66.0	1,009	59.0	474	78.7
2020年3月期第2四半期	70,892	7.2	1,660	33.3	2,459	5.9	2,232	2.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 743百万円 (65.4%) 2020年3月期第2四半期 2,150百万円 (136.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	23.07	
2020年3月期第2四半期	105.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	158,580	89,886	55.9
2020年3月期	165,542	90,383	53.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 88,623百万円 2020年3月期 88,978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		60.00	60.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	10.4	3,000	33.9	3,600	34.4	2,000	46.4	97.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	22,356,228 株	2020年3月期	22,356,228 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,771,144 株	2020年3月期	1,771,145 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	20,585,059 株	2020年3月期2Q	21,231,949 株

(注)当社は、取締役等に対し、信託を用いた株式報酬制度「株式交付信託」を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
3. その他	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発出され、様々な自粛や制限に伴い社会経済活動が停滞しました。その後、緊急事態宣言が解除され、徐々に社会経済活動レベルの引き上げの動きがありましたが、引き続き景気はきびしい状況で推移しました。

このような環境下にあつて当社グループは、従業員やステークホルダーの皆様の安全・健康を最優先として新型コロナウイルスの感染拡大の防止、事業活動・生産活動への影響の最小化に努めるとともに、中期経営計画「Creation'21」の目標達成に向け尽力しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は大きく、当第2四半期連結累計期間の売上高は561億円（前年同期比20.8%減）、営業利益は5億6千万円（同66.0%減）、経常利益は10億円（同59.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億7千万円（同78.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(繊維事業)

原糸分野及びカジュアル分野は、新型コロナウイルスの感染拡大による取引先の店舗休業や個人消費の低迷の影響を受けて、受注が減少し、減収となりました。

ユニフォーム分野は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた建設業及び製造業向けユニフォームの販売不振により、受注が減少し、減収となりました。

なお、抗菌・抗ウイルス機能素材の販売は好調でした。

海外子会社は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、ブラジルやタイの受注が減少したことにより、減収となりました。

この結果、売上高は197億円（前年同期比24.1%減）、営業損失は11億7千万円（前年同期は営業損失10億3千万円）となりました。

(化成品事業)

自動車分野は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自動車メーカーの操業停止などの影響を受けて、国内外ともに受注が減少し、減収となりました。なお、中国の子会社は受注が回復しております。

機能樹脂分野は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、新たに開発した医療用ガウンの受注もありましたが、各種イベントの自粛に伴い販売促進用のクリアファイル用フィルムなどが低調で、また、半導体製造装置向け樹脂加工品も低水準で推移したことにより、減収となりました。

住宅建材分野は、2019年10月の消費税率引き上げや、新型コロナウイルスの感染拡大による新設住宅着工戸数の低迷の影響を受けて、減収となりました。

この結果、売上高は224億円（前年同期比19.4%減）、営業利益は1億4千万円（同58.0%減）となりました。

(環境メカトロニクス事業)

エレクトロニクス分野は、コンピュータ・カラーマッチング・システムは堅調に推移しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、国内外の全般的な営業活動が停滞し、減収となりました。

エンジニアリング分野は、排ガス処理関係の環境装置が低調で、また、プラント関係の大型案件も少なく、減収となりました。

バイオメディカル分野は、2020年3月より販売を開始した新型コロナウイルス抗体検査試薬キットが好調に推移し、また、核酸自動分離装置も堅調で、増収となりました。

工作機械分野は、国内外ともに新型コロナウイルスの感染拡大に伴い設備投資が低調で、販売が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は78億円（前年同期比23.8%減）、営業利益は6億円（同43.2%減）となりました。

(食品・サービス事業)

食品分野は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅勤務の継続や外出の減少による内食需要の高まりから、成型スープやシリアル向けフリーズドライフルーツの販売が増加し、増収となりました。

ホテル分野は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、宴会及び宿泊のキャンセルが相次ぎ、また、2020年5月にホテル全館の臨時休業を行ったことや7月下旬より始まったGo Toトラベルキャンペーンの効果も限定的であったことから、減収となりました。

この結果、売上高は39億円（前年同期比12.4%減）、営業利益は5千万円（同84.3%減）となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、売上高は21億円（前年同期比0.1%増）と前年同期並みとなり、設備の更新等による修繕維持費の増加により、営業利益は14億4千万円（同1.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券は増加しましたが、売上債権が減少したことなどにより、1,585億円と前連結会計年度末に比べ69億円減少しました。

負債は、仕入債務が減少したことなどにより、686億円と前連結会計年度末に比べ64億円減少しました。

純資産は、その他有価証券評価差額金は増加しましたが、為替換算調整勘定や利益剰余金が減少したことなどにより、898億円と前連結会計年度末に比べ4億円減少しました。

以上の結果、自己資本比率は2.2ポイント上昇して55.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億7千万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には179億4千万円（前年同期末は180億6千万円）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、28億7千万円（前第2四半期連結累計期間は42億3千万円の資金の増加）となりました。これは、仕入債務の減少による資金減37億4千万円があったものの、売上債権の減少による資金増65億6千万円や減価償却費の内部留保24億6千万円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、14億4千万円（前第2四半期連結累計期間は30億2千万円の資金の減少）となりました。これは、投資有価証券の売却による収入12億7千万円があったものの、有形及び無形固定資産の取得による支出33億4千万円があったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、20億1千万円（前第2四半期連結累計期間は22億9千万円の資金の減少）となりました。これは、配当金の支払額12億4千万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想につきましては、現時点では2020年8月7日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,808	18,024
受取手形及び売掛金	33,441	26,505
有価証券	607	1
商品及び製品	11,016	10,997
仕掛品	6,906	7,944
原材料及び貯蔵品	4,500	4,390
その他	2,252	1,751
貸倒引当金	△49	△44
流動資産合計	77,483	69,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,816	24,841
その他（純額）	27,504	27,328
有形固定資産合計	52,320	52,170
無形固定資産		
	1,233	1,292
投資その他の資産		
投資有価証券	30,709	31,847
その他	4,231	4,047
貸倒引当金	△436	△348
投資その他の資産合計	34,503	35,545
固定資産合計	88,058	89,008
資産合計	165,542	158,580
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,030	15,165
短期借入金	18,707	18,295
未払法人税等	838	963
賞与引当金	1,431	1,444
その他	8,057	7,190
流動負債合計	48,066	43,058
固定負債		
長期借入金	2,267	2,161
役員退職慰労引当金	115	102
株式報酬引当金	19	36
退職給付に係る負債	12,858	12,727
その他	11,830	10,606
固定負債合計	27,092	25,635
負債合計	75,158	68,693

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,040	22,040
資本剰余金	15,254	15,254
利益剰余金	57,622	56,855
自己株式	△4,227	△4,227
株主資本合計	90,689	89,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,061	8,200
繰延ヘッジ損益	14	△2
為替換算調整勘定	△8,112	△8,884
退職給付に係る調整累計額	△675	△613
その他の包括利益累計額合計	△1,711	△1,300
非支配株主持分	1,405	1,262
純資産合計	90,383	89,886
負債純資産合計	165,542	158,580

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	70,892	56,173
売上原価	58,701	46,342
売上総利益	12,191	9,830
販売費及び一般管理費	10,531	9,267
営業利益	1,660	563
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	587	549
持分法による投資利益	23	—
貸倒引当金戻入額	223	—
その他	313	309
営業外収益合計	1,162	871
営業外費用		
支払利息	161	123
持分法による投資損失	—	6
その他	200	296
営業外費用合計	362	426
経常利益	2,459	1,009
特別利益		
投資有価証券売却益	—	951
補助金収入	—	83
固定資産売却益	—	23
退職給付制度改定益	750	—
特別利益合計	750	1,059
特別損失		
操業休止関連費用	—	381
事業構造改善費用	—	290
投資有価証券評価損	174	86
関係会社株式評価損	—	52
固定資産処分損	—	9
特別損失合計	174	821
税金等調整前四半期純利益	3,035	1,247
法人税等	991	864
四半期純利益	2,043	383
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△188	△91
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,232	474

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,043	383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	1,139
繰延ヘッジ損益	1	△17
為替換算調整勘定	67	△802
退職給付に係る調整額	42	62
持分法適用会社に対する持分相当額	13	△21
その他の包括利益合計	106	360
四半期包括利益	2,150	743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,267	886
非支配株主に係る四半期包括利益	△116	△142

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,035	1,247
減価償却費	2,613	2,465
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	247	△14
退職給付制度改定益	△750	—
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	9	17
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△228	△8
受取利息及び受取配当金	△602	△562
支払利息	161	123
為替差損益 (△は益)	3	5
持分法による投資損益 (△は益)	△23	6
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△5	△26
有形及び無形固定資産除却損	13	13
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△951
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	174	86
関係会社株式評価損	—	52
売上債権の増減額 (△は増加)	6,545	6,566
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,872	△1,144
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,089	△3,746
前受金の増減額 (△は減少)	△211	351
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△14	△1,087
その他	△887	△672
小計	5,116	2,722
利息及び配当金の受取額	611	570
利息の支払額	△140	△103
補助金の受取額	—	215
法人税等の支払額	△1,357	△530
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,230	2,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	56	6
有価証券の取得による支出	△200	—
有価証券の売却による収入	14	2
有価証券の償還による収入	200	200
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,159	△3,343
有形及び無形固定資産の売却による収入	81	87
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	—	1,276
投資有価証券の償還による収入	—	400
貸付けによる支出	△0	△43
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△11	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,025	△1,443

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,857	△119
長期借入れによる収入	200	67
長期借入金の返済による支出	△171	△177
自己株式の取得による支出	△1,418	△1
自己株式取得のための預託金支出	△801	—
自己株式の売却による収入	—	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△83	△66
配当金の支払額	△1,288	△1,240
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△13	—
その他	△569	△475
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,290	△2,012
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,105	△776
現金及び現金同等物の期首残高	19,169	18,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,064	17,943

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する仮定)

前事業年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	化成品 事業	環境メカ トロニク ス事業	食品・サー ビス事業	不動産 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	26,042	27,891	10,303	4,534	2,120	70,892	—	70,892
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	18	23	127	22	208	401	△401	—
計	26,060	27,915	10,431	4,557	2,329	71,294	△401	70,892
セグメント利益 又は損失(△)	△1,034	347	1,057	336	1,458	2,166	△505	1,660

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△505百万円には、全社費用△506百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	化成品 事業	環境メカ トロニク ス事業	食品・サー ビス事業	不動産 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	19,767	22,467	7,846	3,970	2,121	56,173	—	56,173
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	21	5	269	19	226	543	△543	—
計	19,789	22,472	8,116	3,989	2,348	56,716	△543	56,173
セグメント利益 又は損失(△)	△1,170	146	600	53	1,441	1,070	△507	563

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△507百万円には、全社費用△508百万円及びその他の調整額1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(参考情報)

(1) 従業員数の推移 (連結)

(単位: 人)

2018年9月期	4,544
2019年9月期	4,486
2020年9月期	4,233
2019年3月期	4,531
2020年3月期	4,467

(注) 上記のほか、臨時社員・パートタイマー(2020年9月期 963人)がおります。

(2) 有利子負債の推移 (連結)

(単位: 百万円)

2018年9月期	18,683
2019年9月期	21,327
2020年9月期	20,456
2019年3月期	19,524
2020年3月期	20,975

(注) 長・短期借入金の合計金額であります。

(3) 設備投資額・減価償却費の推移 (連結)

(単位: 百万円)

	設備投資額	減価償却費
2018年9月期	3,061	2,422
2019年9月期	2,787	2,613
2020年9月期	2,900	2,465
2019年3月期	6,751	5,018
2020年3月期	5,639	5,404
2021年3月期 (予想)	5,900	5,100

(4) 2021年3月期の通期業績予想 (連結)

(単位: 百万円)

		2020年3月期	2021年3月期
売上高	繊維事業	51,555	44,000
	化成品事業	55,785	50,000
	環境メカトロニクス事業	21,846	21,000
	食品・サービス事業	9,416	9,000
	不動産事業	4,321	4,000
	合計	142,926	128,000
営業利益	繊維事業	△1,701	△1,600
	化成品事業	972	1,000
	環境メカトロニクス事業	2,781	1,700
	食品・サービス事業	622	300
	不動産事業	3,002	2,700
	消去又は全社	△1,136	△1,100
	合計	4,541	3,000
経常利益		5,485	3,600
親会社株主に帰属する当期純利益		3,731	2,000